

戦後最大洪水等に対応した河川の整備率



整備率 ○○%
(令和7年度末時点)

農地・農業用施設の活用



○○市町村
(令和○年○月時点)

流出抑制対策の実施



○○施設
(令和○年○月時点)

集計中



治山対策・森林整備
○○箇所
(令和○年○月時点)
砂防事業による保全箇所
○○施設
(令和○年○月時点)

立地適正化計画における防災指針の作成



○○市町村
(令和○年○月時点)

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定
○○河川
(令和○年○月時点)
内水浸水想定
○○団体
(令和○年○月時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画
○○施設
(令和○年○月時点)
個別避難計画
○○市町村
(令和○年○月時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

『下水道における雨水貯留施設、排水施設の整備』



【新横浜駅前第二幹線下水道工事概要】
雨水幹線：φ2600, L=118m
※R3.8供用開始

■取組の概要

【横浜市】

浸水被害の削減効果に寄与する雨水幹線等の整備事業：自然排水区については5年に1回程度の降雨（時間降雨量約50mm）、ポンプ排水区については10年に1回程度の降雨（時間降雨量約60mm）に対応する、雨水幹線整備を行っている。新横浜駅前第二幹線について令和3年8月に供用を開始した。

被害対象を減少させるための対策

『休耕田による調整池機能の整備』



整備した休耕田調整池

■取組の概要

【町田市】

実施場所：町田市上小山田町野中谷戸
整備内容：NPO法人鶴見川源流ネットワーク整備地の水田跡地等（2000～3000㎡規模）の内、令和3年度は休耕田調整池として約960㎡を整備。整備済みの1号休耕田調整池（約70㎡）と合わせて1030㎡の整備を行った。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

『要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進』



避難確保計画の具体的な作成方法を説明した動画を作成しHPに掲載（YouTube）（横浜市）

■取組の概要

【横浜市】

要配慮者利用施設を対象とした避難確保計画の作成支援動画を作成しホームページに掲載した。

【川崎市】

災害時要配慮者利用施設用洪水時の避難確保計画作成のてびきを改定しホームページに掲載した。